

久留米大学バイオ統計センター公開セミナー

以下の要領にて、公開セミナーを行います。奮ってご参加ください。

日時：2018年11月29日木曜日, 15:00-17:00

場所：久留米大学バイオ統計センター(医学部B棟7階) 講義室

<http://www.biostat-kurume-u.jp>

池田徳典 (久留米大学 バイオ統計センター・博士課程)

「多発性硬化症治療薬フィンゴリモドの内服初期に
出現する心拍数低下 (副作用)情報を利用した
リンパ球減少度 (主作用)の推定」

フィンゴリモドは血中のリンパ球減少を誘導することで多発性硬化症の再発を予防するが、患者によっては薬剤に対する影響が強く、高度なリンパ球減少を認める。このような患者では感染症に罹患する危険性が高くなるため、早期の外来受診を勧める等の対応が望ましいものの、どのような患者で高度なリンパ球減少が認められるのかははっきりせず、実際には対応が難しい。そこで本研究ではフィンゴリモド内服開始直後に発症する一過性の心拍数低下 (副作用)情報から本来の薬効 (主作用)である血中のリンパ球減少度を患者毎に推定する方法について提案する。